

実践のまとめ（第5学年 社会科）

令和3年9月27日第5校時
指導者 三条市立裏館小学校
教諭 鶴巻 洋祐

1 研究テーマ

子どもが問いをもち、主体的に追究する授業 ～抽出児の追求と問題成立過程～

2 研究テーマについて

(1) 研究テーマ設定の意図

学習指導要領（平成29年3月告示）では、「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められている。中でも私は子どもたちが「主体的」に学ぶことに着目してきた。教師から一方的に与えられたり、教え込まれたりする過程で得た資質・能力は、自分のものになりやすく、すぐに剥がれ落ちてしまうことを自ら経験している。学ぶ主体である子どもが「なぜ？」「どうして？」と問いをもち、それを明らかにしようとする過程において他者と関わることで、深い学びとなり、資質・能力が育まれていくと考える。

上述した立場から自分の実践を振り返ると、授業の問題成立場面で、子どもたちの主体性を引き出すことに難しさを感じている。例えば、子どもが本当に考えたいと思っていることとずれたことを学習問題に設定したり、学級全体での練り上げが不十分なまま、全体の学習問題と考えたりしていることがある。これは教師主導の学習である。この教師自身の問題の克服こそ、子どもの主体的な学びを成立させるために必要なことと考えている。これらの教師自身の問題は、授業での子どもの見方・考え方に対する見取りの弱さであり、その解釈や問題成立に向けての支援が不十分であったことに起因していると考えられる。

そこで、私は、子どもが主体的に追究する授業を実現するため、まずは問題成立過程に焦点を当てる。今回は、重松・上田（1965）の R.R. 方式による子どもの思考体制の類型化をもとに、見方・考え方の傾向により子どもたちを3つのグループに分類し、そのグループの中から代表となる子どもを抽出児として選定する。授業中の発言やノート記述はもちろんだが、次時に考えていくことを、前時の終末に学級全体で共有し、そのことについても振り返りに記述させることで、抽出児の見方・考え方をより正確に捉えられるようにしていく。抽出児を手掛かりに学級全体の見方・考え方を予測し、問題成立につなげ、子どもが主体的に追究する授業の実現を目指すこととする。

(2) 研究テーマに迫るために

① 前時の終末で次時に調べていきたいことを確認し、次時を見通す

子どもの問いが常に連続するよう単元を構成していこうと考えた。学習問題は、本時の前段で成立することが多い。その学習問題が学級集団の中で練り上げられることで、共通のものとなり、学級としての追究を深めると考えている。それには、前時終末の段階で一人一人が新しい問題に気付き、問題に対する自分の考えをもてることが望まれる。そのためにも、振り返りを充実させ、価値あるものにすることが必要となる。それを可能にするのは、振り返りの時間の確保と本時の追究を確認する学習活動である。

具体的には、板書から分かったことを確認する。そして、分かったことから考えたことを交流する。その中で、考えたことの子どもの同士のズレ、新たな疑問等について、抽出児を中心とした学級の反応をもとに、次時で考えていくことを決め、学級全体で共有する。

② 本時における学級集団での問いの練り上げ

本時の最初に、子どもの問いが練り上げられ、学習問題となるには、学級全体の追究の道筋に対して教師の的確な支援が必要である。前時の振り返りの記述や本時の中の子どもの言動等から、子どもの思考を見取っていく。そして、「子ども同士にある考えの相違、対立点や論点を明確にすること」「子どもの中にある曖昧さを問い返して分からなさを明確にすること」などを大切にしている。

(3) 研究テーマにかかわる評価

授業記録やノート、ワークシートの記述から、抽出児に問題成立の姿が見られていたのかを検証する。また、抽出児の追究の様相を分析することで、「学級全体の問題成立があったか」「問題成立に向けた教師の支援は有効だったか」ということについても検討し、明らかにする。

3 単元と指導計画

(1) 単元名

一等米の米作りに取り組む人々

(2) 単元の目標

米作り法人「亜俱璃さんじょう」の米作りについて調べることを通して、人々の食糧である米作りをする人々は、消費者が望む品質の高い一等米をつくるため、温暖化による気候の変化、その結果として発生する稲作の問題を克服する取組をしていることを理解し、それが品質の高い米の生産となり、人々の豊かな食生活を支えていることに気付く。

(3) 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 米の品質、気候と稲作の関係について理解している。 品質の高い米作りの取組内容について理解している。 農業の課題と法人誕生の歴史や願いを理解している。 米作りに関する質問事項を作成し、聞き取り内容を整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質の高い米作りについて、聞き取った内容を関連付け、農家の人々の努力や工夫に気付くことができる。 米作りについて聞き取ったことを整理し、調査結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の終末に分かったこと、新たな疑問を考えようとしている。 考えを見直そうとしている。 米に関わる問題を自分事として考えている。

(4) 単元と児童

① 学級の子どもについて（男子17名 女子15名 計32名）

ペアやグループでの活動をスムーズに行うことができる。一方で教育相談の中では、「まだ打ち解けられていない。」といった声が聞かれたり、Q-U アンケートでは承認のポイントが低い子どもが見受けられたりした。このことから、子どもたち同士のつながりは表面上であり、互いに認め合う、信頼し合うといった、深い部分でのつながりをまだ築けていないことが分かる。

食や農業に関するレディネス調査で、「あなたが普段の生活の中で、食べ物に困らず生活できているのは、何のおかげだと思いますか？」に対して、家族やお金と答えた子どもが半数以上で一番多くいた。それは、家の人がお金を稼ぎ、そのお金で食料を買うことで、自分たちは食に困らず生活できているということである。また、米について知っていることは、約9割の子どもが「特にない」と記述している。毎日欠かさず食べている米ではあるが、米に対しての関心は低く、あって当たり前と捉えている様子である。

② 抽出児A児について（女兒）

食や農業に関するレディネス調査では、「お母さんはご飯を作ってくれる。農家の人はお米や野菜を作ってくれる。だから毎日食に困らず生活できている」と考えている。また、食卓にご飯が並ぶまでについて、「農家の人⇒機械⇒加工⇒お母さん⇒私たち」と詳しく記述した。米作りをしている人が困っていることとして、「作っている人が減っている」と記述し、おいしい米を作るためには「きれいな水」が必要であると考えているなど、自分たちの食と農家のつながりを考えている。農業についても知識がある一方で、具体的な努力や工夫といった所までは考えが及んでいない。

品質の高い米を入り口に、その取組の姿に心を寄せて、品質を追い求める中で、困難な状況に陥った時の自分と重ね合わせ、その状況を克服するためにどうすべきかを考えさせたい。

③ 抽出児B児について（男児）

食べ物に困らずに生活できているのは、「みなさん・ママのおかげだ」と記述するが、ご飯が食卓に並ぶまでに携わる人や、その仕事については、「買って、作って」と母親のこのみを想起して記述している。米に関係する人が心配していることについては、「残す」とし、消費者との関係に目を向けている。これらのことから、米を作る過程についての意識は弱く、「買って、作って」などとあるように、食糧を提供するのは農家というよりも、母親であるという思いが強い。

B児に知識や経験を語らせる場面を作ることで、自分に対する自信を高め、目に見えるものだけでなく、見えないことにも考えを及ばせ、米作りに取り組む一つ一つの仕事が、品質の高い米への願いに関係していることに気付く姿を期待する。

④ 単元の価値

本小単元は、学習指導要領の第5学年の内容(2)ア(イ)「食料生産に関わる人々は生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること」を受けている。

単元の中核となる内容を上記の子どもの実態、社会的事象への関心から「品質の高い米作り」とし、中核となる内容を支える主教材を「亜倶璃さんじょうの米作り」とした。

きれいな水があれば、またはお金を払えば品質の高い米は手に入ると考えているA児とB児に、一等米から規格外米の写真を見せる。一等米は、虫に食われたり、未成熟であったりしない、形が均一な安全でおいしい米であることを知る。そのような米を作ることの難しさを考え始めた子どもたちに、三条地域でとれるコシヒカリは例年90%が一等米だったにも関わらず、一昨年は3%であったことを知ると、大きな驚きとともに、A児は自然による弊害のため仕方ないだろうとあきらめのような心情に至るだろう。一方でB児は3%の一等米に目を向けてくるだろう。そこで、一等米を作った「亜倶璃さんじょう」を登場させることで、どうやって一等米を作ったのか調べたいと、意欲を高め、実際に代表の野崎さんに話を聞き調べていく活動を位置付ける。

また、「亜倶璃さんじょう」でしていることが、他の農家でもできないのかという考えから、専業・兼業農家の実態、米価の下落、後継者不足、多くの田が手放されている事実を知り、その難しさに気付く。そして、そういった問題を克服するために「亜倶璃さんじょう」が工夫していることや作り手の思い、米作りの課題を理解していく。

このような追究を通して、お金があれば食糧は手に入るといった、安易な考えではなく、食糧を作る人がいて、さらに諸問題を克服するような様々な苦労や工夫、努力がなければ良質な食料は手に入らないことを理解し、食糧の生産に関わる人々によって、私たちの食生活は支えられていることに気付き、毎日当たり前のように食べている米についての見方を改める姿を期待する。

(5) 単元の指導計画と評価計画(本時7/10時間)

時間	子どもの学びの姿	留意点 (○：手立て、□：評価基準)																														
<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; text-align: center;"><A児></td> <td style="width:33%; text-align: center;"><B児></td> <td style="width:33%; text-align: center;"><その他></td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>1次：一等米と温暖化による米への影響</p> <p>・一等米とはどんな米だろう</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>品質の高い米は検査を受けて評価されたもので、三条でも一等米が作られているのか。</p> </td> <td> <p>見た目がよいものの品質の高い米なのか。たしかに虫が食べた米は食べたくない。</p> </td> <td> <p>味だけでなく、見た目が大切なのか。つぶがそろっているとおいしく感じるんだ。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>◎三条で作られたコシヒカリの一等米が急激に減ったことは何に関係しているのだろう</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>最近暑い日が続くなどの異常気象が関係していた。自然のことだから難しい。</p> </td> <td> <p>稲も暑すぎるとばてる。暑さに弱いコシヒカリをどうやって一等米にしたか。</p> </td> <td> <p>コシヒカリは暑さに弱い。だから高温で日照時間が多い年は一等米が少ない。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>・亜倶璃さんじょうの暑さに負けないコシヒカリの一等米の米作りを調べる計画を立てよう</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>私は水が関係していると思う。暑い時にはたくさん水をあげないと枯れてしまうから。</p> </td> <td> <p>生き物と同じように、水と栄養が必要なので、いつもより多くあげればよいのでは。</p> </td> <td> <p>肥料が関係していると思う。たくさん肥料をあげたのではないか。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>見た目のよい品質の高い米は、温暖化の影響で簡単に作ることができなくなっているのか。その中でも1等米を作った亜倶璃さんじょうはどうやって作っているのだろう。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>2次：亜倶璃さんじょうの課題を克服した品質の高い米作り</p> <p>・亜倶璃さんじょうを訪問して調べよう</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>水も大切だけど、土作りも大切なんだ。田植えをする前から準備している。</p> </td> <td> <p>やはり水が大切。でも自分たちばかり水を出すと、他の所に迷惑がかかるんだ。</p> </td> <td> <p>肥料も工夫していた。種類もだけど、量やタイミングも重要なのか。</p> </td> </tr> </table>	<A児>	<B児>	<その他>	<p>1次：一等米と温暖化による米への影響</p> <p>・一等米とはどんな米だろう</p>			<p>品質の高い米は検査を受けて評価されたもので、三条でも一等米が作られているのか。</p>	<p>見た目がよいものの品質の高い米なのか。たしかに虫が食べた米は食べたくない。</p>	<p>味だけでなく、見た目が大切なのか。つぶがそろっているとおいしく感じるんだ。</p>	<p>◎三条で作られたコシヒカリの一等米が急激に減ったことは何に関係しているのだろう</p>			<p>最近暑い日が続くなどの異常気象が関係していた。自然のことだから難しい。</p>	<p>稲も暑すぎるとばてる。暑さに弱いコシヒカリをどうやって一等米にしたか。</p>	<p>コシヒカリは暑さに弱い。だから高温で日照時間が多い年は一等米が少ない。</p>	<p>・亜倶璃さんじょうの暑さに負けないコシヒカリの一等米の米作りを調べる計画を立てよう</p>			<p>私は水が関係していると思う。暑い時にはたくさん水をあげないと枯れてしまうから。</p>	<p>生き物と同じように、水と栄養が必要なので、いつもより多くあげればよいのでは。</p>	<p>肥料が関係していると思う。たくさん肥料をあげたのではないか。</p>	<p>見た目のよい品質の高い米は、温暖化の影響で簡単に作ることができなくなっているのか。その中でも1等米を作った亜倶璃さんじょうはどうやって作っているのだろう。</p>			<p>2次：亜倶璃さんじょうの課題を克服した品質の高い米作り</p> <p>・亜倶璃さんじょうを訪問して調べよう</p>			<p>水も大切だけど、土作りも大切なんだ。田植えをする前から準備している。</p>	<p>やはり水が大切。でも自分たちばかり水を出すと、他の所に迷惑がかかるんだ。</p>	<p>肥料も工夫していた。種類もだけど、量やタイミングも重要なのか。</p>	<p>○写真：等級ごとの米の様子</p> <p>○資料：等級検査の基準</p> <p>☑米の品質について理解している。【ノート記述分析】</p> <p>☑授業の終末に分かったこと、新たな疑問を考えようとしている。【ノート記述分析】</p> <p>○資料：三条市で獲れた米の等級年間推移</p> <p>○資料：コシヒカリとこしいぶきの特徴</p> <p>○資料：米作りに関わる期間の三条市の気候経年変化</p> <p>☑気候と稲作の関係を理解している。【ノート記述分析】</p> <p>☑質問事項を作成することができる。【ワークシート記述分析】</p> <p>○亜倶璃さんじょうへの見学</p> <p>☑聞き取り内容を整理することができる。【ワークシート記述分析】</p>
	<A児>	<B児>	<その他>																													
<p>1次：一等米と温暖化による米への影響</p> <p>・一等米とはどんな米だろう</p>																																
<p>品質の高い米は検査を受けて評価されたもので、三条でも一等米が作られているのか。</p>	<p>見た目がよいものの品質の高い米なのか。たしかに虫が食べた米は食べたくない。</p>	<p>味だけでなく、見た目が大切なのか。つぶがそろっているとおいしく感じるんだ。</p>																														
<p>◎三条で作られたコシヒカリの一等米が急激に減ったことは何に関係しているのだろう</p>																																
<p>最近暑い日が続くなどの異常気象が関係していた。自然のことだから難しい。</p>	<p>稲も暑すぎるとばてる。暑さに弱いコシヒカリをどうやって一等米にしたか。</p>	<p>コシヒカリは暑さに弱い。だから高温で日照時間が多い年は一等米が少ない。</p>																														
<p>・亜倶璃さんじょうの暑さに負けないコシヒカリの一等米の米作りを調べる計画を立てよう</p>																																
<p>私は水が関係していると思う。暑い時にはたくさん水をあげないと枯れてしまうから。</p>	<p>生き物と同じように、水と栄養が必要なので、いつもより多くあげればよいのでは。</p>	<p>肥料が関係していると思う。たくさん肥料をあげたのではないか。</p>																														
<p>見た目のよい品質の高い米は、温暖化の影響で簡単に作ることができなくなっているのか。その中でも1等米を作った亜倶璃さんじょうはどうやって作っているのだろう。</p>																																
<p>2次：亜倶璃さんじょうの課題を克服した品質の高い米作り</p> <p>・亜倶璃さんじょうを訪問して調べよう</p>																																
<p>水も大切だけど、土作りも大切なんだ。田植えをする前から準備している。</p>	<p>やはり水が大切。でも自分たちばかり水を出すと、他の所に迷惑がかかるんだ。</p>	<p>肥料も工夫していた。種類もだけど、量やタイミングも重要なのか。</p>																														

⑥	<p>・亜倶璃さんじょうの米作りについて分かったことや新たな疑問を整理しよう。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="239 224 526 347">あまり聞いたことがない、いろいろな品種を作っている。誰が買うのかな？</td> <td data-bbox="526 224 813 347">暑さに弱いコシヒカ리를多く作るのはなぜか。暑さに強い米を作ればいいのか。</td> <td data-bbox="813 224 1101 347">田植えを遅らせることは誰でもできそうだけど、他の農家はしないのか？</td> </tr> </table>	あまり聞いたことがない、いろいろな品種を作っている。誰が買うのかな？	暑さに弱いコシヒカ리를多く作るのはなぜか。暑さに強い米を作ればいいのか。	田植えを遅らせることは誰でもできそうだけど、他の農家はしないのか？	<p>思・判聞き取りから亜倶璃さんじょうの米作りについて新たな問題を発見している。 【ノート記述分析】 主考えを見直そうとしている。 【ノート記述分析】</p>
あまり聞いたことがない、いろいろな品種を作っている。誰が買うのかな？	暑さに弱いコシヒカ리를多く作るのはなぜか。暑さに強い米を作ればいいのか。	田植えを遅らせることは誰でもできそうだけど、他の農家はしないのか？			
⑦ 本時	<p>◎暑さに強い品種もあるのに、暑さに弱いコシヒカ리를一番多く作り続けている理由は何だろう。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="239 425 526 593">新潟県のコシヒカ리는おいしくて人気なのか。また、他の品種も特徴があり、必要なんだ。</td> <td data-bbox="526 425 813 593">売れない米をたくさん作っても儲からない。みんなが求める米を作るために努力しているのか。</td> <td data-bbox="813 425 1101 593">自分たちが作りやすい品種を作っているわけではない。米を食べる私たちのことを考えていた。</td> </tr> </table>	新潟県のコシヒカ리는おいしくて人気なのか。また、他の品種も特徴があり、必要なんだ。	売れない米をたくさん作っても儲からない。みんなが求める米を作るために努力しているのか。	自分たちが作りやすい品種を作っているわけではない。米を食べる私たちのことを考えていた。	<p>主前時の終末と本時の最初の考えが繋がっている。 【発言・ノート記述分析】 ○資料：米の品種とそれぞれの特徴 ○資料：野崎さんの話</p>
新潟県のコシヒカ리는おいしくて人気なのか。また、他の品種も特徴があり、必要なんだ。	売れない米をたくさん作っても儲からない。みんなが求める米を作るために努力しているのか。	自分たちが作りやすい品種を作っているわけではない。米を食べる私たちのことを考えていた。			
<p>亜倶璃さんじょうは、土づくり、水管理、追肥、田植えの時期を遅らせるといった様々な工夫や努力で課題を克服し、品質の高い米を作っているのか。作る品種も消費者が求めるものに合わせて、計画的に作っているのか。</p>			<p>思・判米作りへの取組を関係付け、工夫や努力について気付くことができる。</p>		
⑧	<p>3次：日本の農業の課題とわたしたちにできること ・亜倶璃さんじょうの取組は他の農家ではできないのか</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="239 806 526 952">米作りを専門にやっている会社の亜倶璃さんじょうだからできることなのか。</td> <td data-bbox="526 806 813 952">兼業農家は休日のGWに田植えをするしかない。簡単に時期を遅らせられない。</td> <td data-bbox="813 806 1101 952">みんな亜倶璃さんじょうのように専業農家になればいいのに。</td> </tr> </table>	米作りを専門にやっている会社の 亜倶璃さん じょうだからできることなのか。	兼業農家は休日のGWに田植えをするしかない。簡単に時期を遅らせられない。	みんな 亜倶璃さん じょうのように専業農家になればいいのに。	<p>○資料：JA南蒲の方の話 ○資料：兼業農家と専業農家の割合 ○資料：亜倶璃さんじょうとある兼業農家の米作りに関わるタイムスケジュール</p>
米作りを専門にやっている会社の 亜倶璃さん じょうだからできることなのか。	兼業農家は休日のGWに田植えをするしかない。簡単に時期を遅らせられない。	みんな 亜倶璃さん じょうのように専業農家になればいいのに。			
⑨	<p>・野崎さんはどんな思いで亜倶璃さんじょうを作ったのか</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="239 985 526 1131">米価が下がったり、後継者がいなかったりで、田んぼを手放す人が増えたのか。</td> <td data-bbox="526 985 813 1131">機械を買うのにそんなにお金がかかるのか。協力して米作りをしているんだ。</td> <td data-bbox="813 985 1101 1131">このまま消費量が減り続けたら、日本で米を作る人はいなくなるかもしれない。</td> </tr> </table>	米価が下がったり、後継者がいなかったりで、田んぼを手放す人が増えたのか。	機械を買うのにそんなにお金がかかるのか。協力して米作りをしているんだ。	このまま消費量が減り続けたら、日本で米を作る人はいなくなるかもしれない。	<p>○資料：亜倶璃さんじょうの歴史 ○資料：野崎さんの話 ○資料：米価の年間推移 ○資料：米の消費量の年間推移</p>
米価が下がったり、後継者がいなかったりで、田んぼを手放す人が増えたのか。	機械を買うのにそんなにお金がかかるのか。協力して米作りをしているんだ。	このまま消費量が減り続けたら、日本で米を作る人はいなくなるかもしれない。			
⑩	<p>◎日本の農業を守っていくために自分たちには何ができるだろうか</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="239 1164 526 1534">米を作る人の工夫や努力が泣ければ、安全で安心な米を食べ続けることはできない。作りたいと思えるようにできることを考えたい。</td> <td data-bbox="526 1164 813 1534">自然相手に米を作るだけでも大変なのに、消費量も減れば買ってもらえなくなる。日本の米を守るためにまずは米のよさを伝えたい。</td> <td data-bbox="813 1164 1101 1534">一等米の米を作ることがこれほど大変なことだと思わなかった。農家の方のおかげで食べられることを忘れずにいきたい。</td> </tr> </table>	米を作る人の工夫や努力が泣ければ、安全で安心な米を食べ続けることはできない。作りたいと思えるようにできることを考えたい。	自然相手に米を作るだけでも大変なのに、消費量も減れば買ってもらえなくなる。日本の米を守るためにまずは米のよさを伝えたい。	一等米の米を作ることがこれほど大変なことだと思わなかった。農家の方のおかげで食べられることを忘れずにいきたい。	<p>知・技農業の課題と人誕生の歴史と願いについて理解している。【ノート記述分析】 主自分の食糧に関する問題把握をしようとしている。 【ノート記述分析】 主日本の農業の問題に対して、自分なりに考えようとしている。【ノート記述分析】</p>
米を作る人の工夫や努力が泣ければ、安全で安心な米を食べ続けることはできない。作りたいと思えるようにできることを考えたい。	自然相手に米を作るだけでも大変なのに、消費量も減れば買ってもらえなくなる。日本の米を守るためにまずは米のよさを伝えたい。	一等米の米を作ることがこれほど大変なことだと思わなかった。農家の方のおかげで食べられることを忘れずにいきたい。			
<p>日本の農業には、人々の米の消費量の減少による米の価格の下落、それに伴う担い手の不足など課題は多くあることがわかった。私たちがこれからも品質の高い米を食べ続けていくために、一人一人ができることを考えていくことが大切なんだ。</p>					

4 本時の展開

(1) ねらい

「**亜倶璃さん**じょう」が作っている米の品種と作付面積の関係について資料をもとに話し合うことを通して、米を作る人は、作り手の都合ではなく、消費者に必要とされる品種を作っていることを理解し、私たちの豊かな食生活は農家の人々の努力によって支えられていることが分かる。

(2) 展開の構想

前時の終末に、「わざわざ暑さに弱いコシヒカ리를一番多く作るのはどうしてだろう」という子どもの問いを共有し、そのことについて、振り返りに自分の考えを記述している。そこで把握した抽出児の考えをもとに、本時では問題成立に向けて、対立事項や論点をはっきりさせるように支援していく。学習問題が成立した後は、子どもの求めに応じて、資料を提示し、コシヒカリとその他の米の特徴の違いを明らかにする。分かった事実をもとに話し合う中で、米を買う消費者という視点に気付いていけるようにしていく。授業の終末には分かったこと、新たな問いを共有し、次時に子どもの追究が連続していくように組み立てる。

(3) 展開

学習活動(分)	教師の働きかけ (T)			留意点 (○：手立て、 評：活動の段階的評価)
	学習課題	◎学習問題	まとめ	
学習問題の成立 10分	< A児 >	< B児 >	< その他 >	<p>○前時終末に共有した問いについて、自分の考えを交流する場の設定</p> <p>○問いに対して、いくつかの考えが出されたら、考えていく順番を子どもたちと決めていく。</p>
	<p>◎作るのが難しいコシヒカリを一番多く作っているのはなぜか</p> <p>T1：亜俱璃さんじょうが暑さに弱いコシヒカリを一番多く作っていることについて自分の考えを発表してください。</p> <p>他の品種にも、暑さに弱い以外の弱点があるのではな いか。</p> <p>売れないものを作っても意味がないから、一番売れるのでは？</p> <p>コシヒカリはおいしいと聞いたことがあるよ。だからかな。</p> <p>T2：他の品種の弱点や、品種による人気について考えができました。どちらから考えますか？</p> <p>どちらも関係がありそうだけど、他の品種の特徴も知りたい</p> <p>確かに弱点もありそうだ。完璧な品種なんてないと思う。</p> <p>コシヒカリが一番人気か調べたい。</p>			
学習問題の解決 20分	<p>T3：他の品種の弱点について資料で調べましょう。</p> <p>弱点がないわけではないが、育てることが難しいのはコシヒカリなのか。</p> <p>コシヒカリより育てやすいものの方が多い。やはり、人気だから多く作っているのか？</p> <p>コシヒカリは他の品種より育てることが難しい。人気関係しているのではないか。</p> <p>T4：暑さに弱いだけでなく、それ以外の面でも育てにくいコシヒカリを一番多く作っていることについて、人気だからと考えているのですね。資料で調べてみましょう。</p> <p>こしいぶきなどより高くても、おいしいと思われているから人気。</p> <p>人気だから作っている。これだけ作るのが難しいのに、売れなければ</p> <p>「米と言ったらコシヒカリ」と思っている人がいるくらい人気だ。</p>			<p>資料：生育に関する品種ごとの特徴</p> <p>○子どもの追究に合わせて◎を動かしていく。</p> <p>○子どもの求めに応じて資料を提示する。</p> <p>○資料：消費者の声</p> <p>○資料：野崎さんの話</p> <p>評：亜俱璃さんじょうが作る品種と作付面積の関係について、消費者という視点から考えようとしている。</p> <p>【思・判・表】</p>
まとめと問いの共有 15分	<p>T5：今日の学習でわかったことを教えてください。</p> <p>作りやすさではなく、消費者のために、消費者が求めるからコシヒカリを作っている。</p> <p>コシヒカリは作るのが難しくても、食べたい人がたくさんいるから工夫して作っている。</p> <p>亜俱璃さんじょうは私たちのことを考えて、安全でおいしい米を作っている。</p> <p>T6：わかったことから感じたこと、まだはつきりしないこと、疑問はありますか。</p> <p>聞いたことがない品種も作っているけど、それもほしい人がいるのだろうか？</p> <p>こしいぶきはどんな人が買うのだろうか。ほんの少ししか作っていない品種も気になる。</p> <p>コシヒカリが人気なのは分かったけど、他の農家は暑さに負けない工夫はできるのか？</p> <p>T7：他の品種について分からないことが出てきました。振り返りに、自分の考えを書きましょう。</p> <p>◎ 亜俱璃さんじょうは自分たちの作りやすさではなく、消費者が求めるからコシヒカリを一番多く作っている。</p>			<p>○分かったこと、新たな疑問を共有する場の設定</p> <p>○本時で分かった、事実と事実を板書でつないでいき、つながらないことが見えるようにしていく。</p> <p>○本時の中で出た子どものつぶやきを板書しておくことで、疑問に思ったことを気付けるようにする。</p> <p>評：授業の終末に分かったこと、新たな疑問を考えようとしている。【主体的】</p>

(4) 評価

亜俱璃さんじょうが作っている米の品種と作付面積について、消費者と関連付けて考えることができる。(思考・判断・表現)

6 実践を振り返って

(1) 授業（本時：7時間目）の実際

① 前時の終末で次時に調べていきたいことを確認し、次時を見通す

「亜倶璃さんじょう」の見学を通して、一等米を生産する大変さや苦勞が分かったからこそ、もっと簡単に、樂をして作ることができないのかということについて新たな問いをもった。その中の一つが、「作るのが難しいのにコシヒカリを一番多く作っていること」である。前時の振り返りの中に、このことについて抽出児は以下のように記述した。

A児：コシヒカリが人気だから一番多く作っている。

B児：なぜコシヒカリを作っているのかはみんなの笑顔が見たいから。美味だー。

どちらの抽出児とも、生産者の消費者意識が表れている。しかし、B児は前時の中で「他の品種も弱さがあると思う。」と発言していた。これは生産性に関するものであり、生産者自身の都合と関わっているものであった。

② 本時の学級集団での問いの練り上げ

「亜倶璃さんじょうは暑さに弱く、作るのが難しいコシヒカリを一番多く作っていること」について、「人気」が関係しているという発言が続いた。そこで、「他の品種の問題」を振り返りに記述していた子どもを意図的に指名した。抽出児の反応から、「コシヒカリの人気」と「他の品種の問題」は、どちらも考え得る理由であると捉えていると見取り、「◎コシヒカリがおいしく人気だから、多く作っているのか？」「◎他の品種は暑さ以外に問題があるのか？」の二つの問題を考えていくことにした。

③ 学習問題成立後の子どもの追究の様子

はじめに、「人気」と「他の品種の問題」について明らかにしていく順番を話し合い、子どもの求めに応じて、「人気」から調べていくことにした。A児は、意欲的に取り組む姿がみられたが、B児は、意欲的に取り組む様子はみられなかった。次に、「他の品種の問題」について調べると、B児は、新之助について、「メリットだらけ。」とつぶやいた。A児は「他の品種は暑さ以外に問題があって育てにくい。」と発言した。その中でも、デメリットが多く、育てにくいものはコシヒカリであることが分かった。

まとめとして、A児は「コシヒカリは作るのが難しいけれど、人気で『食べたい』と思っている人がいるから作っている。」と記述した。B児の興味関心は薄かった。

(2) 研究テーマに関わる成果と課題

・ 前時の振り返りに基づいた子どもの見取り

B児は単元を通じて、経験や家族から得た情報を友達に伝えていた。単元のまとめの振り返りでは、「これまでの社会科で一番手ごたえのある学習」と記述した。B児の主体的な姿を引き出したのは、毎時間の振り返りを中心に思考を見取り、考えを学習の中に位置づけたら、学級全体の学習問題につなげたりしたからだと考える。

・ 子どもの思考に沿った学習展開

本時では、調べる順番を子どもに問い、「人気」から先に明らかにしていくことになったが、B児の主体的な追究はあまり見られなかった。B児は、他の品種にも作る難しさがあるからコシヒカリを作っているのではないかという仮説をもっていた。そのようなB児の思考に沿い、「他の品種の問題」について先に調べていけば、「他の品種に比べてもコシヒカリは作ることが難しいのに、それでもコシヒカリを一番多く作ること」について問いが深まっていったと考える。より正確に子どもの思考を見取り、教師の出場を考えていく必要がある。

・ 授業の終末での問いを生むための手立て

「作るのが難しいコシヒカリを多く作ること」がそもそも子どもたちの問いであったかということも再考しなければならない。子どもから出された問いではあったが、コシヒカリが人気という事実は多くの子どもの中で明白なものであった。B児の姿からも「コシヒカリの人気」については、自身の考えが安定しており、明らかにしたいという思いは弱かったように思う。子どもたちが分かったことから、新たな分からなさや疑問を見出せるようにするためにも、単元構成はもちろん、板書をより構造的なものにしたり、疑問につながる授業中の子どもの発言を板書に残したりするなど、新たな手立てを考えていくことが必要である。

7 参考文献

- ・ 文部科学省 「小学校学習指導要領解説 社会編」
- ・ 社会科の初志をつらぬく会 2019 「社会科を好きになる教育の手立て—混迷を切り開く学力の育成—」 溪水社
- ・ 藤井千春 2018 「主体的・対話的で深い学び 問題解決学習入門」 学芸みらい社
- ・ 中越社会科研究会編 2018 「子どもが追究する社会科 第5集—主体的な学びを保証する問題解決学習—」 めぐみ工房
- ・ 重松鷹泰 上田薫 1965 「R.R.方式：子どもの思考体制の研究」 黎明書房